

2021年度 アーク/半自動溶接技術評価試験準備実技講習会 ご案内

1. 講習会概要

一般社団法人神奈川県溶接協会では、溶接技能者評価試験を受験する方を対象とした実技講習会を実施しております。初めて受験する方、新しい試験種目(専門級)を受験する方、再評価試験の前に練習したい方などベテラン講師が受験に向けた技術習得を目指して指導いたしますので、ぜひ本講習会を活用されますようご案内いたします。

2. 講習会場

一般財団法人日本溶接技術センター / 会場住所：川崎市川崎区本町 2-11-19 (駐車場はありません。)

3. 講習日 (講習時間 9:00~16:00)

2021年									2022年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5日(月)	10日(月)	7日(月)	5日(月)	2日(月)	6日(月)	4日(月)	1日(月)	6日(月)	11日(火)	7日(月)	7日(月)
12日(月)	17日(月)	14日(月)	12日(月)	16日(月)	13日(月)	11日(月)	8日(月)	13日(月)	17日(月)	14日(月)	14日(月)
19日(月)	24日(月)	21日(月)	19日(月)	23日(月)	21日(火)	18日(月)	15日(月)	20日(月)	24日(月)	21日(月)	22日(火)
26日(月)	31日(月)	28日(月)	26日(月)	30日(月)	27日(月)	25日(月)	22日(月)		31日(月)	28日(月)	28日(月)
							29日(月)				

4. 講習料金 (※評価試験料は含んでおりません。)

※当協会会員は下記より¥1,100 割引

被膜アーク溶接		料金(税込み)	半自動溶接		料金(税込み)	備考
N-1F, V, H, O 3.2mm・当て金なし		20,900円	SN-1F, V, H, O 3.2mm・当て金なし		22,000円	※1. 料金は、材料・溶接棒・ワイヤ代込みです。 ※2. 受講日の変更は 3日前までに ご連絡ください。 ※3. 受講票発行後は、受講料の 返金は出来ません。
N-1P 薄肉管・当て金なし		25,300円	SN-1P 当て金なし		27,500円	
A-2F, V, H, O 9.0mm・当て金あり		20,900円	SA-2F, V, H, O 9.0mm・当て金あり		24,750円	
A-2P 中肉管・当て金あり		28,600円	SA-2P 中肉管・当て金あり		31,900円	
N-2F, V, H, O 9.0mm・当て金なし		20,900円	SN-2F, V, H, O 9.0mm・当て金なし		24,750円	
N-2P 中肉管・当て金なし		28,600円	SN-2P 中肉管・当て金なし		31,900円	
A-3F, V, H, O 19.0mm・当て金あり		23,650円	SA-3F, V, H, O 19.0mm・当て金あり		26,950円	
N-3F, V, H, O 19.0mm・当て金なし		23,650円	SN-3F, V, H, O 19.0mm・当て金なし		26,950円	
T-1F V, H, O 3.2mm・当て金なし		23,650円	SC-2F, V, H, O 中板 組み合わせ溶接		28,600円	
T-1P 薄肉管・当て金なし		28,600円	SC-2P 中肉管 組み合わせ溶接		35,750円	
C-2F, V, H, O 中板 組み合わせ溶接		24,750円	SC-3F, V, H, O 厚板 組み合わせ溶接		30,800円	
C-2P 中肉管 組み合わせ溶接		31,900円	ステンレス鋼		料金(税込み)	
C-3F, V, H, O 厚板 組み合わせ溶接		26,950円	CN-F, V, H, O 9.0mm・当て金なし		33,550円	

5. 携行品

作業着、安全靴、保護具、遮光面など (コロナウイルス感染防止対策のためお貸出しは一切お断りしております)

6. 申込締切日

申込締切日は、**各講習日の1週間前(厳守)**です。

※評価試験は、別途申込が必要となります。

試験日の約1ヶ月前に締切りますので、評価試験の申込書が必要な方は下記の神奈川県溶接協会までご連絡ください。

7. 申込方法

下記申込書に記入のうえ直接、神奈川県溶接協会まで持参(平日 16時30分まで)するか、現金書留で送付してください。

(電話、FAX 等での予約は受付けておりません。)

※料金をお振込みする場合は、振込日が分かる書類(振込明細のコピーなど)を添付してください。

振込先 ⇒ 横浜銀行川崎支店 普通口座 2200225 口座名義(シャ)カナガワケンヨウセツキョウカイ

【申込先】

一般社団法人神奈川県溶接協会
 住所 〒210-0001 川崎市川崎区本町 2-11-19 一般財団法人日本溶接技術センター内
 TEL: 044-233-8367 FAX: 044-246-5265 E-mail: wes-kana@aiores.ocn.ne.jp
 JR川崎駅東口より徒歩15分、京急川崎駅より徒歩10分。駐車場はありません。喫煙所はありません。
 業務時間 平日 9:00~17:00(窓口受付は16:30まで) / 休日 土日祝日・夏期休業・年末年始

..... 切り取り線

アーク/半自動溶接実技講習会申込書

※消せるボールペンでの記入は、受付不可

会社名		申込担当者名	
住所	〒		
電話番号		FAX	
受講日	受講者名(フリガナ)	受講種目	使用溶接材料
			試験日
			料金

試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
薄板 (裏当て金なし) 最初の記号 N 手アーク溶接 SN 半自動溶接	基本級 N又はSN-1F 専門級 N又はSN-1V 専門級 N又はSN-1H 専門級 N又はSN-1O 専門級 N又はSN-1P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) " 100A	板の厚さ 3.2 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はI型又はV型
中板 (裏当て金あり) 最初の記号 A 手アーク溶接 SA 半自動溶接	基本級 A又はSA-2F 専門級 A又はSA-2V 専門級 A又はSA-2H 専門級 A又はSA-2O 専門級 A又はSA-2P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) " 150A	板の厚さ 9 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型
中板 (裏当て金なし) 最初の記号 N 手アーク溶接 SN 半自動溶接	基本級 N又はSN-2F 専門級 N又はSN-2V 専門級 N又はSN-2H 専門級 N又はSN-2O 専門級 N又はSN-2P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) " 150A	板の厚さ 9 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型
厚板 (裏当て金あり) 最初の記号 A 手アーク溶接 SA 半自動溶接	基本級 A又はSA-3F 専門級 A又はSA-3V 専門級 A又はSA-3H 専門級 A又はSA-3O 専門級 A又はSA-3P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) "	板の厚さ 19 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型
厚板 (裏当て金なし) 最初の記号 N 手アーク溶接 SN 半自動溶接	基本級 N又はSN-3F 専門級 N又はSN-3V 専門級 N又はSN-3H 専門級 N又はSN-3O 専門級 N又はSN-3P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) "	板の厚さ 19 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型
全層ティグ溶接 薄板 (裏当て金なし)	基本級 T-1F 専門級 T-1V 専門級 T-1H 専門級 T-1O 専門級 T-1P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) " 100A	板の厚さ 3.2 150×125×2枚 溶接方向は150です 開先はI型又はV型
組み合わせ溶接 1~3層ティグ溶接 最初の記号 C 手アーク溶接 SC 半自動溶接	基本級 C又はSC-2F 専門級 C又はSC-2V 専門級 C又はSC-2H 専門級 C又はSC-2O 専門級 C又はSC-2P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) " 150A	板の厚さ 9 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型
組み合わせ溶接 1~3層ティグ溶接 最初の記号 C 手アーク溶接 SC 半自動溶接	基本級 C又はSC-3F 専門級 C又はSC-3V 専門級 C又はSC-3H 専門級 C又はSC-3O 専門級 C又はSC-3P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き " 横向き " 上向き " パイプ (管) "	板の厚さ 19 150×125×2枚 半自動溶接は200 溶接方向は長い方です 開先はV型

1F・2F・3Fの記号の資格は基本級といえます。最初はこの資格を取得してください。その後、専門級が受けられます。
学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験があります。講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。
受験資格：基本級の試験は、1か月の経験者で15才以上、専門級の試験は、3か月の経験者で15才以上です。

試験材の見取り図

